

河川におけるオオサンショウウオ道の遡上試験  
— 遡上している個体の撮影に成功 —

水資源機構 川上ダム建設所  
環境課 大高英澄

# オオサンショウウオについて

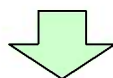
- ・世界最大の両生類
- ・国の特別天然記念物
- ・全長50cm～70cm
- ・夜行性
- ・一生を水中で生活



川上ダムの建設が計画されている前深瀬川流域に生息

# オオサンショウウオについて

事業の実施にあたりオオサンショウウオの保全を行うこととしている。



生息環境の改善を目的とした保全対策を検討している。



オオサンショウウオ道



人工巢穴

# 今回の報告

国内的にも希少

- ①オオサンショウウオ道を遡上する  
個体の撮影に成功
- ②オオサンショウウオが遡上するための  
施設としての機能を有する可能性
- ③映像から得られた知見

# 1. オオサンショウウオ道

## ■ 斜面構造

材料は木材

幅 40cm

側面壁付（高さ20cm）



## ■ 階段構造

材料はコンクリートブロック

(10cm×19cm×39cm)

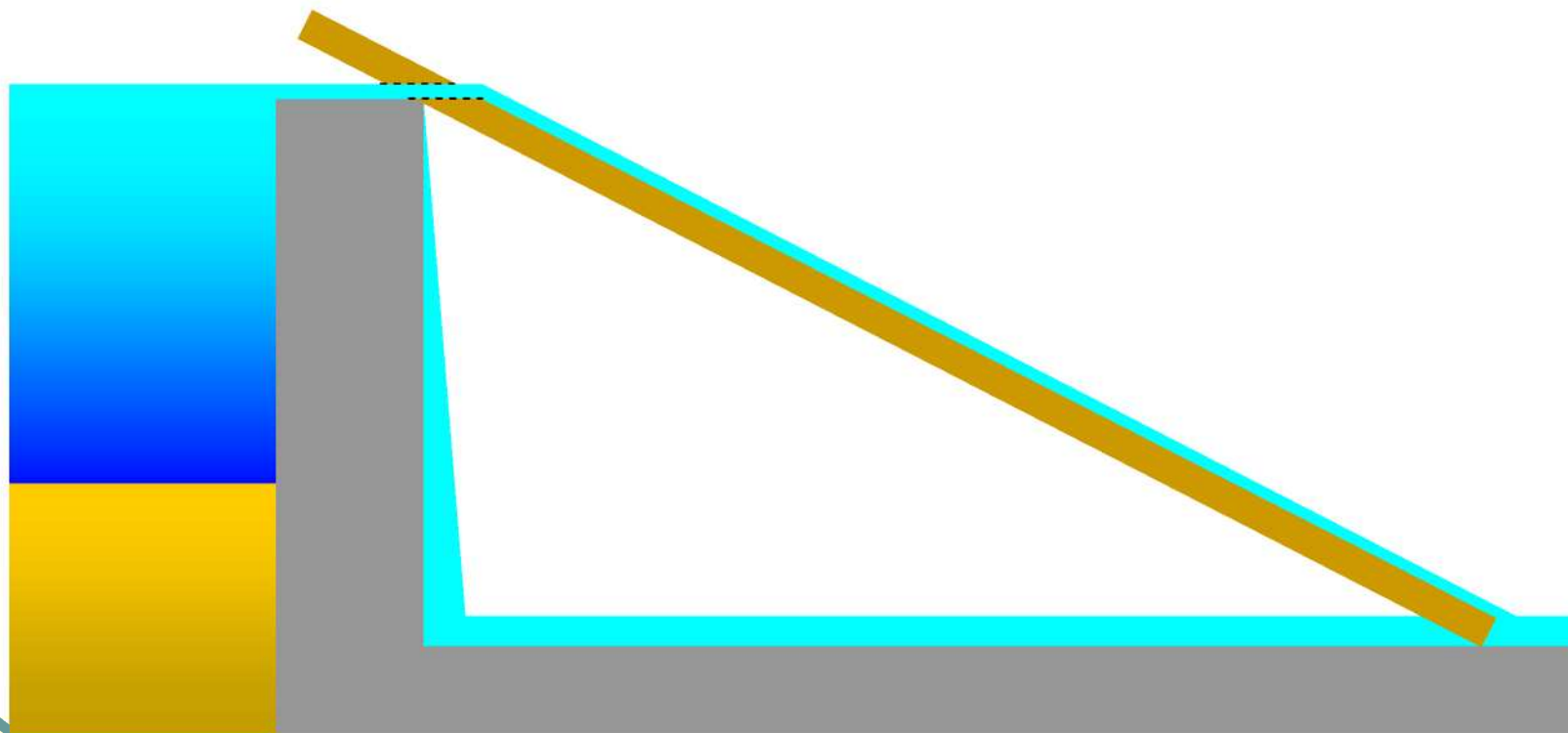
階段状に積み重ねる



## 2. オオサンショウウオ道の改良

### ■ 斜面構造

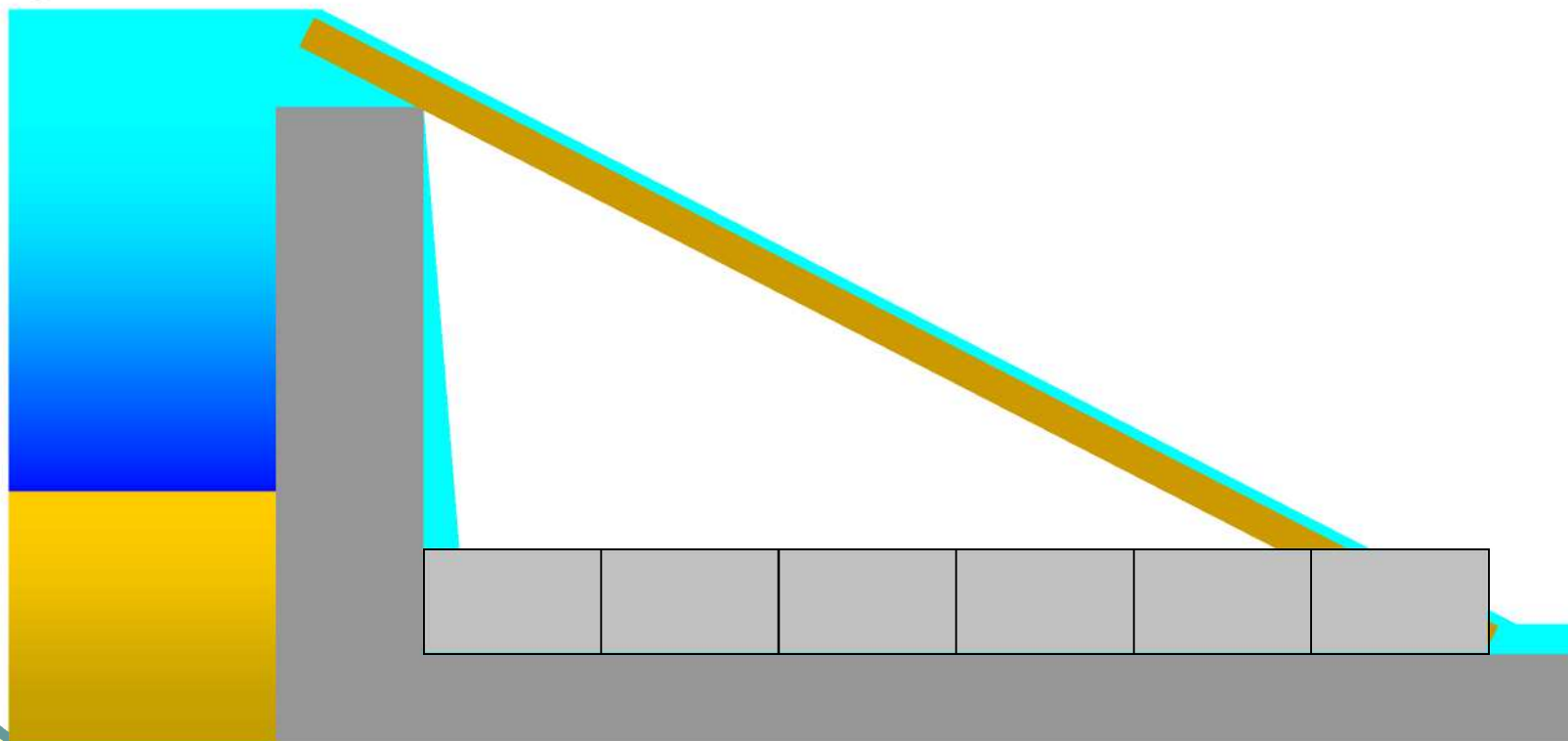
#### ① オオサンショウウオ道表面の流水



## 2. オオサンショウウオ道の改良

### ■ 斜面構造

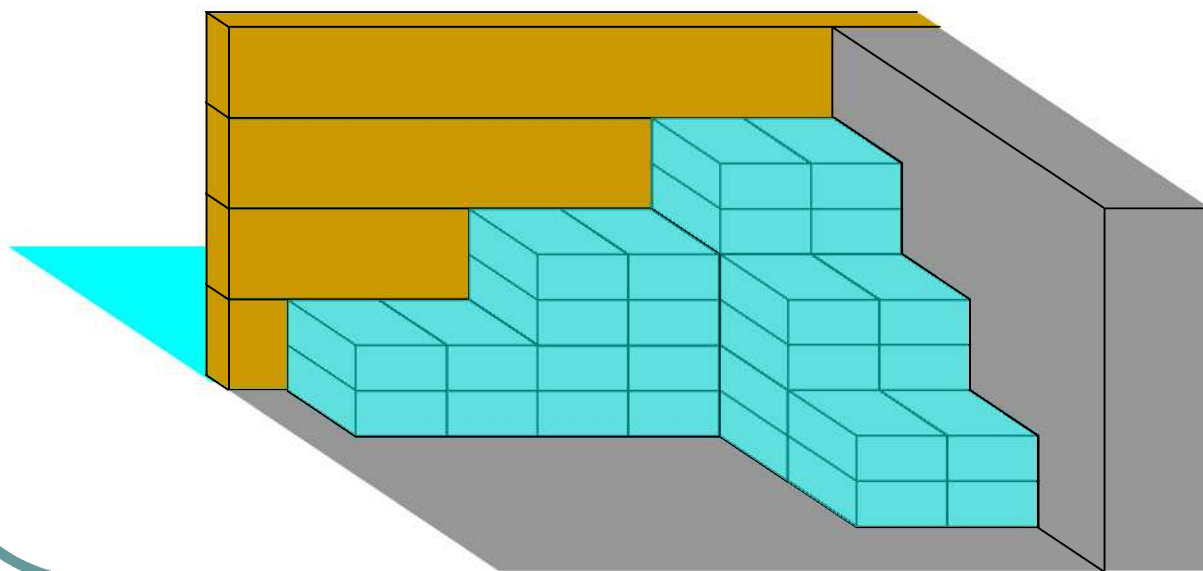
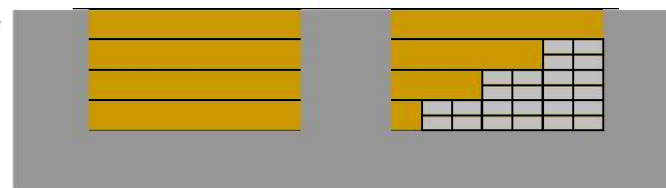
#### ② オオサンショウウオ道下部の隙間



## 2. オオサンショウウオ道の改良

### ■ 階段構造

#### ① 堰板の有無によらない構造

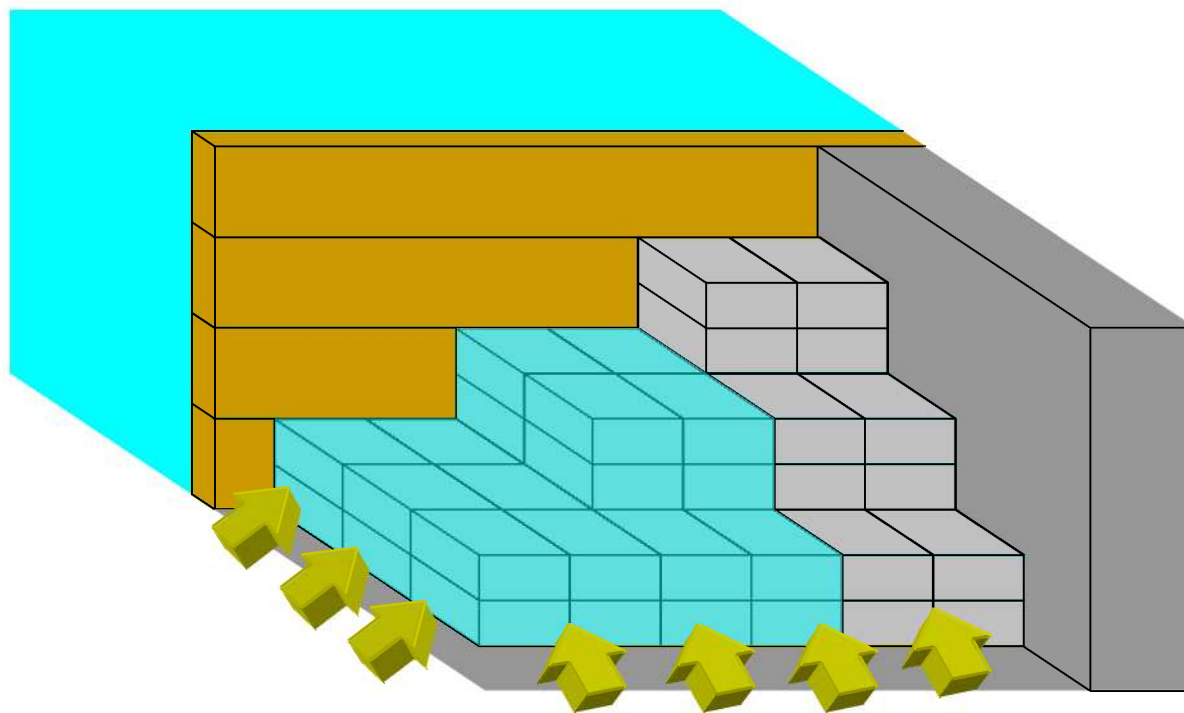




## 2. オオサンショウウオ道の改良

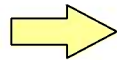
### ■ 階段構造

#### ② アプローチ場所の増加

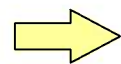


### 3. 河川における遡上試験

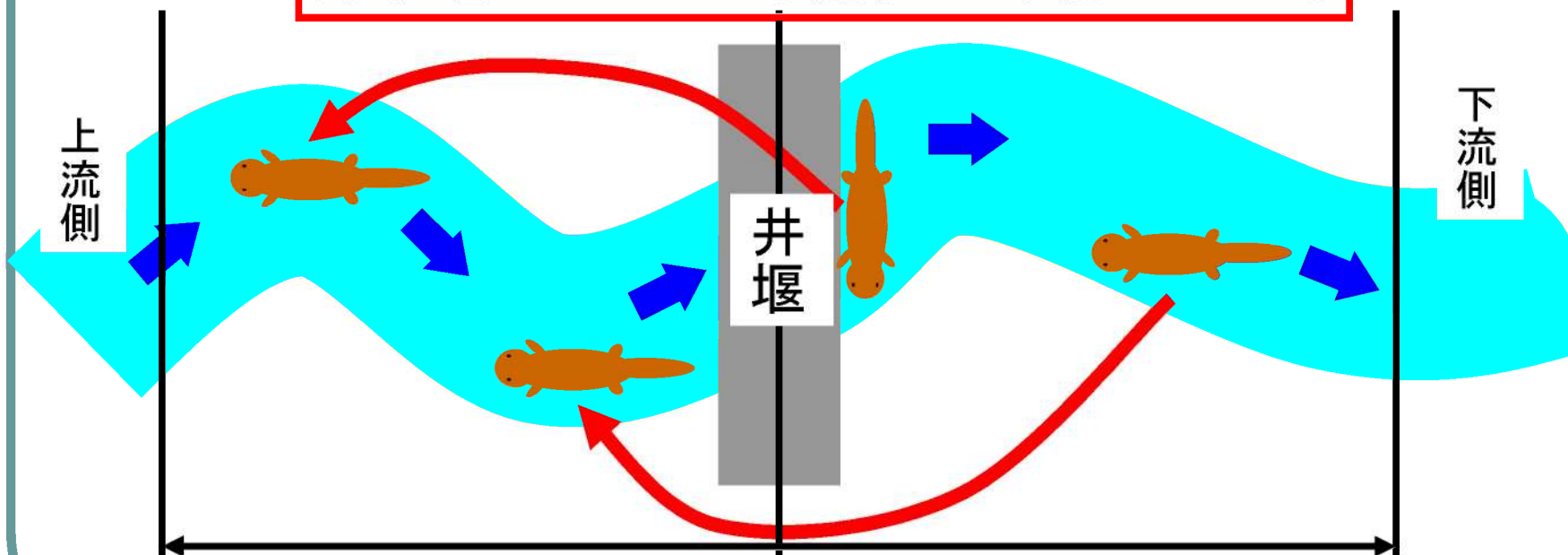
井堰下流で確認



井堰上流で確認



井堰を遡上した可能性が確認できる。



調査範囲：井堰の下流及び上流とした。

### 3. 河川における遡上試験

#### 整理対象としたオオサンショウウオ道

S井堰（高さ1m80cm）



平成20年10月21日設置

O井堰（高さ50cm）



平成20年10月23日設置

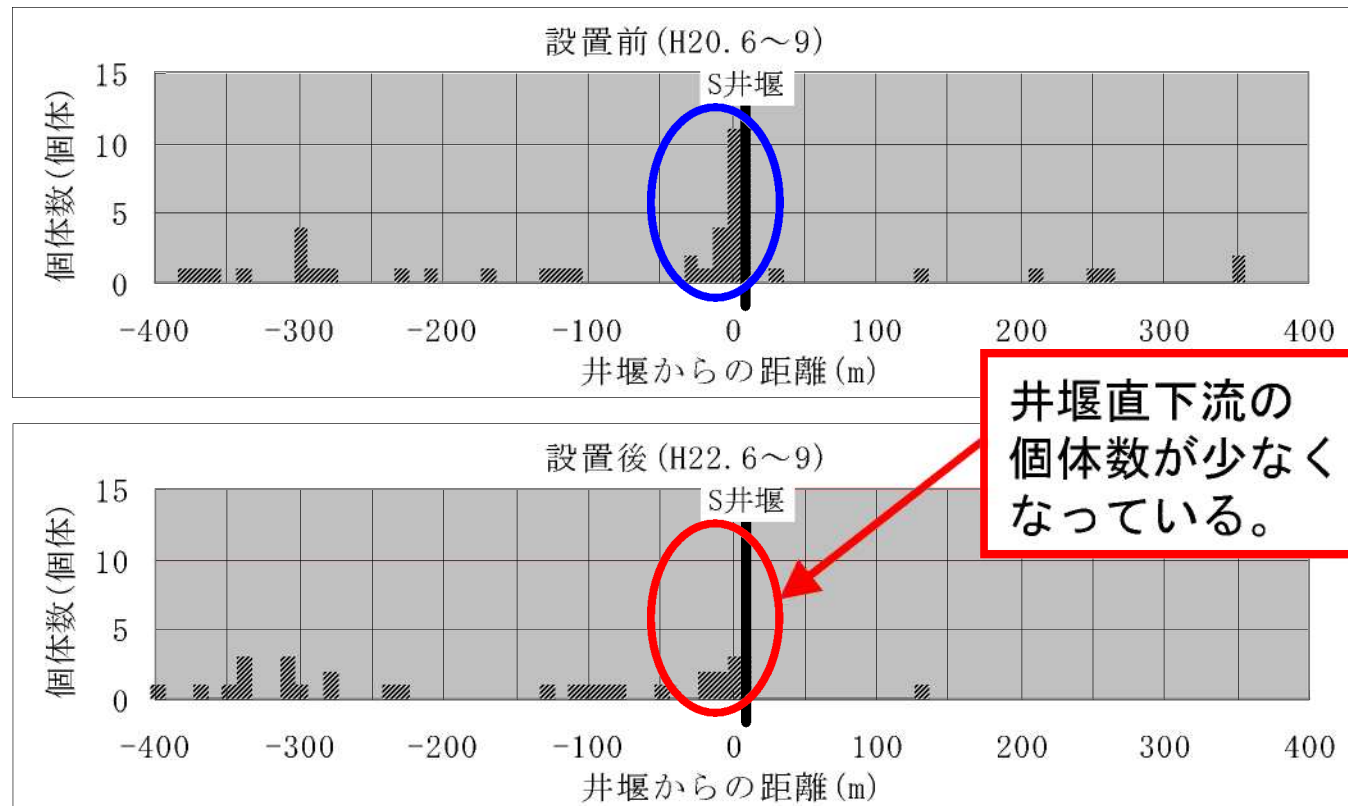
### 3. 河川における遡上試験

#### (1) 遡上頻度

	対象期間	遡上頻度(個体/月)	
		S井堰	O井堰
設置前	H20. 6~H20. 9の4ヶ月間	0.00	0.00
設置後	H20. 10~H20. 11の2ヶ月間	0.00	0.00
	H21. 5~H21. 10の6ヶ月間	0.50	0.50
	H22. 5~H22. 10の6ヶ月間	0.83	0.33

# 3. 河川における遡上試験

## (2) 個体分布状況



### 3. 河川における遡上試験

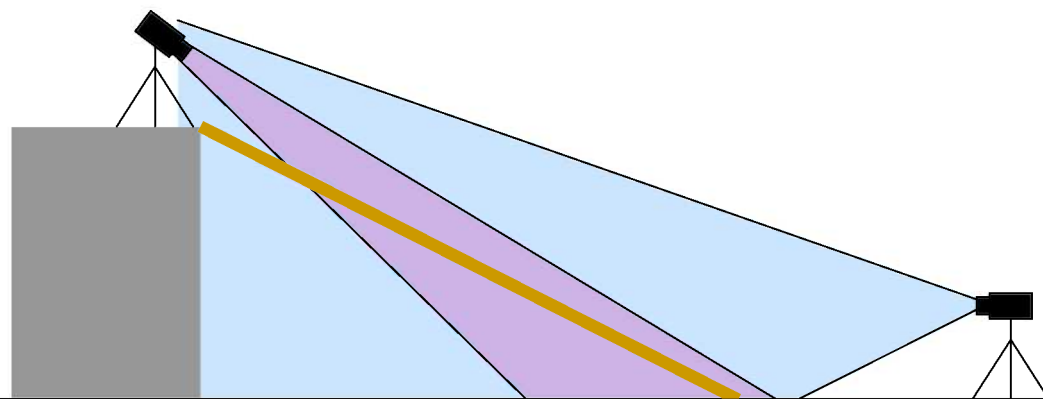
- 遡上状況のビデオ撮影

撮影対象：S井堰

撮影アングル

井堰下流側

**井堰上流側**



### 3. 河川における遡上試験

- 遡上状況のビデオ撮影

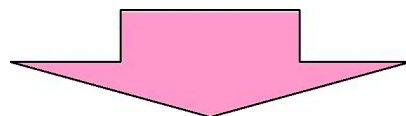


4倍速で再生

## 4. まとめ

### 調査結果の整理より

- ①オオサンショウウオ道設置後の遡上頻度が設置前と比較して高くなっている。
- ②S井堰では設置前と比較して設置後の井堰直下流の個体数が少なくなり、遡上できずに停滞している個体が少なくなっている状況が見受けられた。



遡上施設としての機能を有する可能性がある。



## 4. まとめ

遡上状況の映像より

- ①側面壁に沿って遡上している。
- ②流水が有る状況で遡上している。
- ③途中何度か休止しながら遡上している。

## 5. おわりに

- 平成19年度に実施した遡上試験の結果を踏まえて、平成20年度より河川における遡上試験を実施した。
- その結果、オオサンショウウオ道を遡上する個体の撮影に成功し、遡上状況を確認することができた。  
(国内的にも希少な映像)
- 今後も遡上試験を継続し、さらなるデータの蓄積を行う予定である。